

未来



全労協・郵政産業労働者
ユニオン長崎中野支部
機関紙「みらい」
NO. 4303
22年11月25日(金)
Tel・Fax 095-828-1953
文責 支部書記長

1ヶ月で3閣僚更迭 首相の任命責任は軽いのか

3閣僚の辞任理由

寺田稔総務相

妻が代表を務める政治団体の脱税の可能性、資産等報告書で1250万円の貸付金が不記載・訂正を届け出など政治資金問題が相次いで発覚

葉梨康弘法務相

自民党衆議院議員のパーティーで「法相は死刑のはんこを押す時だけニュースになる地味な役職」と発言。過去にも同様の発言をしていたことが発覚

山際大志郎経済再生担当相

世界平和統一家庭連合(旧統一教会)の関連団体会場への出席など、同教団との接点が相次いで発覚。教団の韓鶴子総裁との接触も認められた

おはようございます。
11月20日、岸田首相は政治資金をめぐる問題が次々と発覚した寺田稔総務相から辞表を受け、新たに松本剛明氏を総務相に任命した。

更迭された前法相は、9日「だいたい法務大臣というのは朝、死刑(執行)のはんこを押しまして、昼のニュースのトップになるのはそういうときだけという地味な役職なんです」と述べていた。



3閣僚の辞任理由は左記表の通り。総務相は「金」、法相は「はんこ」、経済再生担当相は「旧統一教会」とそれぞれ違うが、重要閣僚となる資質があったのかと疑う。その中でも特に異質なのは「はんこ」発言の法相だ。

それだけでなく「法務大臣になっても、お金も票も集まらない」との発言もあつたという。それぞれの発言についてみていこう。

死刑執行。法務省の役人が順次決裁した執行命令書に押印がなされると、数日後に執行という流れになる。歴代の法相は上

書に押印する前に、丹念に記録等を読み、えん罪の可能性はないかなどを踏まえた上で押印していたという。人によつては、押印時に手が震えたり、神仏に祈つたりしたそう

だ。死刑囚の命を奪うという究極の刑罰の執行にのぞむ際、こうした謙虚さは当然だろう。法治国家であるわが国において、その中枢を担う法相職を「地味な役職」と言う、とはどういう神経の持ち主かと疑いたくなる。また、政界の不正に切り込む最強の捜査機関の検察。そのトップである検事総長に対し、「指揮権」を発動し、捜査をストップする強大な権限もある。大臣の中でも「格」は上であり、非常に重い職責である。

一方「お金も票も集まらない」という発言には、この人物が、政治家としての理念とか使命感よりも、利権や名声に目がいっている証拠だろう。

更迭は当然であり、政治家としての資質以前に、人としての感性が問われたのだ。

さて辞任した寺田前総務相の後任の松本剛明新総務相だが、22日「しんぶん赤旗」が、松本氏の政治資金収支報告書に記載されていた政治資金パーティーについて、会場収容人数を大幅に超えるパーティー券を販売していたことがわかった、と報じた。

「はんこ」繋がりで我々の職場においても「はんこ」は身近なものだ。ミーティング時に「最近また各種押印漏れが多くなっている」との周知を聞いたことがあるだろうか。社会人が押印するという意味は言うまでもなく、その件は承知しました。とか、押印したからには責任を持ちます等、重要な意味を持つ。周知文書にも一件ずつ押印を求められるが、その押印にどれだけ責任と自覚を持つ社員がいるだろうか。班ミーティング時に「押印しといてね」と言われ押印。その押印した文章は引き上げられ何が書いてあつたかわからない。しかし事故などがあつた場合には「押印しているよね。理解したよね。何でやらの」と言われること間違いなし。



仲間と競争せず、弱い立場の人と共に団結して闘おう。期間雇用社員希望者全員が正社員化を。めいめい均等待遇。なつて差別。ユニオンは労基法裁判に勝利したわー！

